

【六本木三丁目東側地区まちづくり協議会、まちづくり研究会、第一回：コラージュ作り大会】

■日時：2018年2月17日（土）14:30～16:30

■場所：港区麻生総合支所「区民協働スペース」

■参加者（26名）：六本木三丁目東側地区まちづくり協議会研究会
 林・ト学生（早稲田大学）、連（港区まちづくりコンサルタント）

■テーマ：地区計画制度等を活用し再開発手法を用いないまちづくり

・・・低層住宅主体のまちづくりの可能性を探る

将来の街のイメージを各自、持ち寄ってコラージュ（切り貼り絵）を作ります。どんな街にしたいかの夢を、様々なイメージを台紙に貼り付けると共に、コメントやスケッチを入れて表現します。

■スケジュール

14:30～挨拶（水橋会長）、司会進行（足立）

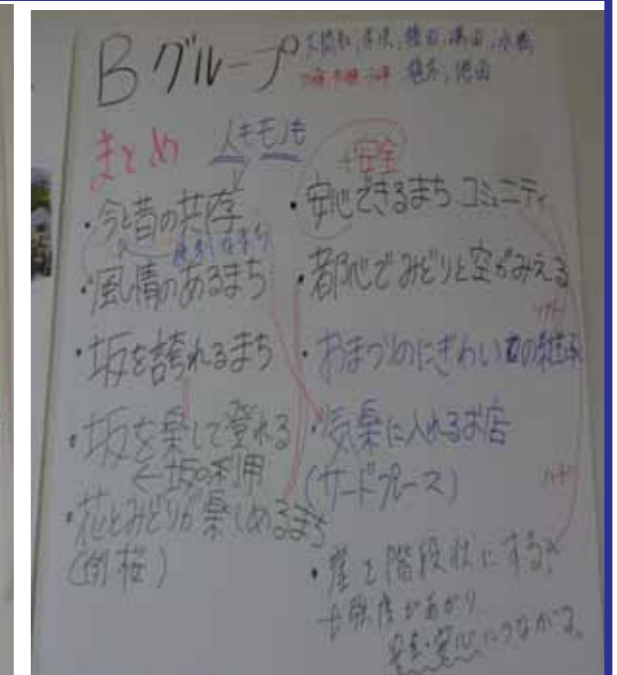
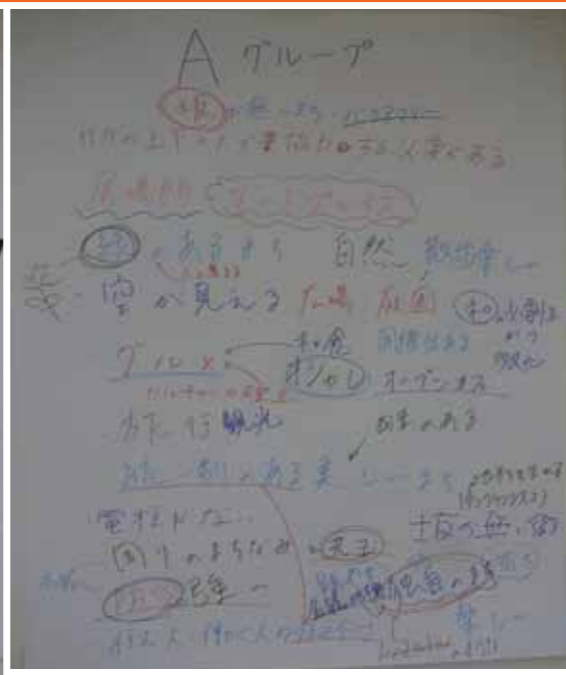
14:35～コラージュの作り方の説明（連）

14:55～2グループでコラージュ作り

15:35～各グループで感想を言いながら特徴をまとめる

15:55～発表会、16:10～全体のまとめ（連）、

16:25～挨拶（植木）、今後のスケジュール（足立）



■Aグループ

バリアフリー、崖の上下の人で協力、
 第3の居場所、花・緑のある街、自然がある、
 散策が楽しい街、空が見える、広場、庭園、
 和の必要性、グルメカルチャーの確立（おやれ）
 オープンカフェ、旅行、観光、統一性のある美しい街、
 電柱が無い、災害に強い、坂が無い街、地形を活かす
 特徴のある街、住む人と働く人の住み分け



■Bグループ

今と昔の共存、人とモノとの共存、便利な街、
 風情のある街、坂を誇れる街、坂を楽しく登れる
 →坂の利用、花（桜）と緑が楽しめる街、安心・安全
 コミュニティーがある、都心で緑と空が見える、
 お祭りの賑わいの継承、気楽に入れる店→第3の居場所
 崖を階段状にする→強度が上がる。

■ハード面のまちづくりの手法の分類

ハード面のまちづくりは建物、道路、公園などの整備による環境改善であるため、その契機となるのは、建物の建替事業です。建替事業は「個別で行うか/共同で行うか」「個人で任意で行うか/まち全体で行うか」によって分類されます。今回は地区計画を用いた検討です。

地区計画制度
 などを利用した
 まちづくり
 地区計画などのルールに
 則して個々の人が銘々に
 建替え

再開発事業による
 まちづくり
 多くの地権者による
 共同の建設・整備事業

任意の
 個別建替
 現行法規の中で
 個々人が銘々に建替え

任意の
 共同建替
 現行法規の中で
 隣り近所など数件が集まって
 共同ビルを建設



■発表会

各グループで作ったコラージュを元に理想の街のイメージを発表する。

■まとめ

- ① 第3の居場所が大切（気軽に入れる店）
- ② 快適な街（採光、風、景色、人、空、統一性）
- ③ 災害に強い街（耐震化、不燃化、広い道）
- ④ 共生がある街（老若男女、今と昔、住民と会社
崖の上と下、周囲の高層と中低層、人とモノ）
- ⑤ 坂を誇れる街→特徴、アイデンティティ、地形
- ⑥ 近所付き合いがある街（コミュニティ、祭、和）
- ⑦ 便利な街、電線地中化、バリアフリー、グルメカルチャー
- ⑧ 花と緑が楽しめる、飲食が楽しい